

「しんぶん赤旗」(2011年9月7日)

ホーム転落対策急げ

東急などに党都議団が申し入れ

日本共産党東京都議団は6日、東京急行電鉄(東急)にホームドアの設置や人員増などホームからの転落防止策を申し入れました。たとえ民夫、かち佳代子両都議が、野本弘文社長宛ての申し入れ書を手渡しました。東急側は「ホームドアは大井町線大井町駅

で今年度中に整備し、東横線全駅で2013年度以降検討に入る」と答えました。7月に述べました。7月に視覚障害者がホームから転落し、死亡する事態があった田園都市線つくし野駅など他の駅・路線については設備面でのコスト高を理由に「国や自治体からの補助が決まった段階で

検討する」と答えました。たとえ都議は「安全対策の強化に関しては都議団も応援する立場。国に対しても予算を出す」と希望を出していく」と話しました。

都議団は6日にも京成電鉄に対して同様の申し入れを行いました。

た。大島よしえ都議らは難しい」「人員配置に対しても京成側は、狭いホーム幅などを理由に「ホームドアの設置は難しい」「人員配置や非常ボタンの設置などで対応している」と話しました。